

◆高所作業台 操作方法

本体設置

① アウトリガー設置

注 意

！各アウトリガーを設置する場合、必ず硬い地面に水平に設置してください。

！全ての車輪が浮いている状態で水平をとってください。

1. 本体の差込口にアウトリガーを差し込み、ロックピンにより、アウトリガーが完全にロックされたことを確認する。(図1参照)
2. 残り3本のアウトリガーも同様に取りつける。
3. アウトリガーの端にあるジャッキを時計回りに回し、アウトリガーを地面に固定する。(図1参照)
4. 本体を水平にするため、水準器の気泡が中心にくるようにジャッキを回し調節する。(図2参照)

②電源コード差込

注 意

！必ず 100V・定格 15A の電源を使用してください。

！延長コードは長さ 20m以下で3.5スクエア(3mm²)の3芯接地のものをご使用ください。

！コンセントに差し込む際は必ずアースを取ってください。

③キースイッチの操作

本体側操作盤のキースイッチにキーを差込み、「作業床」側に回す。(図3参照)

④緊急停止ボタン(本体側)「OFF」

本体側操作盤内にある緊急停止ボタンを矢印の方向に回し、解除する。(図3参照)

注 意

緊急停止ボタン(赤色)の状態

！押してある状態(ON)の時…リフト運転停止

！引いてある状態(OFF)の時…リフト運転可動

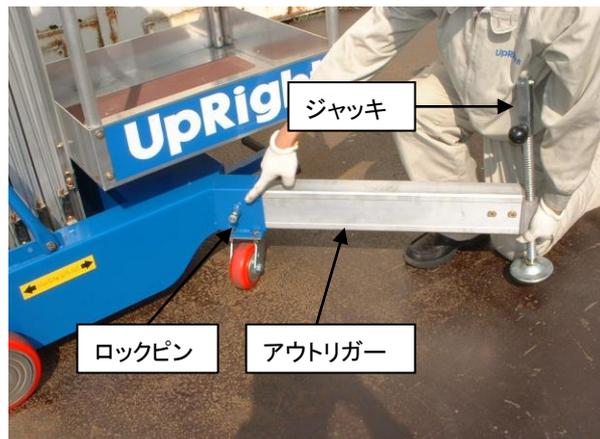


図1: アウトリガーの接地



図2: 水準器の確認



図3: 本体側操作盤

⑤電源ボタンを押す

電源ボタンを押し、電源ランプが緑色に点灯したことを確認する。(図3参照)

⑥アウトリガー接地ランプ点灯確認

注 意

アウトリガーが正しく張られると、接地ランプ(緑色のランプ)が点灯します。必ず4箇所のランプが点灯していることを確認してください。

全てのランプが点灯していなければ、操作を行っても作業床は昇降しません。(図3参照)

上 昇

⑦ 作業床に搭乗

スライド式のゲートバーを引き上げて作業床に搭乗する。搭乗後ゲートバーを下げ、安全帯をフックにかける。

⑧ 緊急停止ボタン(作業床側)「OFF」

作業床内操作盤にある緊急停止ボタンを矢印の方向に回し、解除する。(図4参照)

⑨ 作業床内操作盤の作動ボタンを押しながら、操作スイッチを上昇側へ回す。

注 意

！作動ボタンを押す操作と、操作スイッチを上昇側へ回す操作を、同時に続けないとリフトは上昇しません。(図4参照)

又、一度操作を中断したら2秒以上間をあけて下さい。(ヒューズ切れ防止の為)

！上昇中は、頭上及び作業床の周囲の障害物等に十分注意して下さい。

下 降

⑩ 作業床内操作盤の作動ボタンを押しながら、操作スイッチを降下側へ回す。(図4参照)

注 意

プラットフォームを降下させる前に、必ず下部及び周囲の安全を確認してから降下してください。



図4: 作業床内操作盤

取扱全般についての注意事項

- ・本機の操作に際して、資格取得・法定点検の実施等の義務はありません。任意点検は承っております。
- ・本機に搭乗する際は、必ずヘルメット・安全帯を使用し、搭乗後、安全帯のフックを手摺に掛けてください。
- ・作業床が上昇状態にある時は、絶対にアウトリガーのジャッキを解除し、機体を移動させないでください。
- ・作業床内に脚立・踏み台・ハシゴ等の類を持ち込んで使用しないでください。
- ・作業床から何かに移り移ったり、またその逆となる行為は絶対に行わないでください。
- ・本機の安全装置には、本書内の他に、「緊急降下装置」・「過積載防止装置」・「ブレーカー」があります。
- ・この資料は、取扱説明会用の簡易版です。本機をご使用前に、必ず取扱説明書本書を全てお読みいただき、内容を十分にご理解ください。